

## ①当共済組合全体の重点取組事項

疾病特性の区分	共済組合全体の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業 (●) 支援金加減 算対象	当共済組合 全体の重点 取組事項	支部で今後 必要と考える 事業	これまでの 支部事業
生活習慣病 (タイプ1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上</li> <li>・組合員等の利便を考慮した実施体制の整備及び周知</li> <li>・事業主健診の結果授受その他の事業者との間の事務を円滑に行うための所要の整備</li> <li>・個人に合わせた情報提供の拡充及び実施方法の工夫（必要に応じICTを活用）</li> <li>・LDLとHbA1cについて優先的に改善</li> <li>・若年層に対し健康増進に寄与する事業を推進</li> </ul>	1-1	特定健康診査 (事業主健診結果受領・人間ドック)	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を必要とする者を的確に選別すること。	●	○	○	○
		1-2	特定保健指導 【1次予防】	対象者の個別の状況に応じた必要な指導及び助言を行い、これを通じて生活習慣病に移行させないこと。 (医療費の適正化)	●	○	○	○
		1-3	個別性の高い情報提供（ICTの活用を含む） 【1次予防】	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけとなるよう意識づけを行うこと。 (健康行動への意識づけ)	○	○		
		1-4	生活習慣病に関する意識啓発 【1・2・3次予防】	参加者が生活習慣病予防に関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そして生活習慣病予防に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。			○	○
		1-5	医療機関の受診勧奨 【2次予防】	対象者が健診結果から自らの健康状況を強く認識し、生活習慣病の早期治療の開始（医療機関の受診）や、生活習慣の改善行動に繋がるよう促すこと。 (高額医療への発展リスクの低減/生涯医療費の抑制)	○			
		1-6	重症化予防 【3次予防】	既に治療を開始している対象者において、かかりつけ医と連携し、身体機能の維持に必要な自己管理の指導及び助言を行い、これを通じて慢性疾患の重症化や合併症の発症・再発を防止すること。	○			
		1-7	40歳未満に対する人間ドック・保健指導	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、対象者の個別の状況に応じた必要な指導及び助言を行うことで、40歳に到達したときにメタボリックシンドローム及びその予備群に該当しないこと。		○	○	○

疾病特性の区分	対策の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業	事業目的	法定事業（●）支援金加減算対象	当共済組合全体の重点取組事項	支部で今後必要と考える事業	これまでの支部事業	
(続き)	※今回、1-8～12について注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	1-8	運動習慣づくりの支援	運動施設の利用等を通じて、運動習慣を継続するための機会を提供すること。	○	○	○	○
		1-9	飲酒が健康に与える影響についての意識啓発	飲酒が健康に与える影響に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして節酒に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	
		1-10	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度の向上	組合員等が広報等を通じてCOPDに関する知識を獲得し、自ら予防に取り組むよう誘導すること。		○	○	
		1-11	禁煙についての意識啓発	組合員等が禁煙に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして禁煙に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。	○	○	○	○
		1-12	禁煙支援	喫煙者に禁煙プログラムへの参加や禁煙外来の助成、禁煙補助薬の配付・助成を通じて、禁煙を開始させ、定着化させること。	○	○		
悪性新生物（タイプ2）	・特に婦人がん検診の拡充	2-1	胃がん検診	胃がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-2	大腸がん検診	大腸がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-3	肺がん検診	肺がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-4	乳がん検診	乳がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○	○
		2-5	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見の機会提供を行うこと。	○	○	○	○
		2-6	その他のがん検診	上記5大がん以外のがんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-7	がんに関する意識啓発	組合員等が婦人がんを始めとしたがんに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、また、がんの予防及び早期発見に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	
精神の疾病（タイプ3）	・法定のストレスチェック受検後のフォローアップに活用することを意識	3-1	メンタルヘルス相談	メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。	○	○	○	○
		3-2	メンタルヘルスに関する意識啓発	参加者（一般の組合員等/管理監督者）がメンタルヘルスクエアに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そしてメンタルヘルスクエアに自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	○
		3-3	ストレスチェック（心の健康チェック事業）	メンタルヘルス不調の気付きを促すとともに、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげること。（ストレスチェックは事業者を実施義務があるため、共済組合はそれを支援する。）		○	○	
歯の疾病（タイプ3）	※今回、歯科に注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	3-4	歯の喪失防止についての意識啓発	発生する年代・性別に応じて歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報発信及び保健物資の配付を行うこと。		○	○	○
		3-5	歯科健診	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供を行うこと。	○			
季節性疾患（タイプ3）	・重点取組事項ではないが、加減算の指標の1つである。	3-6	予防接種の実施	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施することで、感染予防を行うこと。	○		○	○
その他（共通）	・組合員等の年齢及び性別等に応じた効果的かつ効率的な事業	4-1	健康相談	心と身体全般に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。			○	
		4-2	個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブ	健康に関する問題意識の喚起及び行動変容を実現するよう援助すること。	○	○		
		4-3	職場環境の整備（コラボヘルス）の推進	組合員が保健事業に参加しやすい職場環境を醸成し、個々の組合員が健康づくりに自主的に取り組みやすい環境が職場において実現すること。	○	○	○	

## ②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者						事業予算 (29年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有 無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由
	N	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	組合員/人間ドック・定期健康診断結果の受領被扶養者/受診券を配付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	36,428	被扶養者の受診率が低い	有	実施方法を検討する必要がある
	2	無料人間ドック	1-1	指定年齢の組合員のドック全額助成	府・共済	男女	40、50歳					31,643		有	
	3	一般人間ドック助成	1-1	人間ドック受診費用の一部助成	府・共済	男女	40歳以上	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	204,628		有	
	4	特定保健指導	1-2	対象者に利用券を配付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	18,780	実施率が低い	有	実施方法を検討する必要がある(訪問指導の導入等)
	5	健康管理セミナー	1-4 1-11	健康づくりをすすめるために、生活習慣病予防に関する講演及び実技指導を実施	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			1,638		有	
	6	一般人間ドック助成	1-7	人間ドック受診費用の一部助成	府・共済	男女	40歳未満	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	33,080		有	
	7	地区別健康増進事業	1-8	それぞれの地域に即し、スポーツ施設利用助成等の健康増進事業を実施	共済	男女	すべて	男女	すべて			7,000		有	
	8	脳ドック	-	無料人間ドックと併用して脳ドックを受診した場合の経費を全額助成	府・共済	男女	40、50歳					21,640		有	
	9	セルフケア脳ドック助成	-	一般人間ドックと併用して脳ドックを受診した場合の経費を全額助成	共済	男女	45、55歳、定年退職予定者					12,454		有	
	10	骨粗しょう症検診	-	人間ドックと併用して骨粗しょう症検診を受診した場合の経費を全額助成	府・共済	女	40、45、50歳以上					4,100		有	
	11	職場の健康づくり支援事業	-	各所属所で実施される健康づくりに関する講習会、研修会等の事業の経費を助成	共済	男女	すべて					2,200	助成対象か否かの判断基準が曖昧で、安易に申請を受け付ける傾向がある 所属所ごとの利用実績に偏りがある	有	1回の1人当たりの助成額に上限を設ける等の方法により、過大な助成を避ける
	12	広報誌「福いきょうと」の発行	1-9 1-10	事業のお知らせや実施状況、制度の説明、健康に関するコラム等	共済	男女	すべて	男女	すべて			2,252		有	
悪性新生物 (タイプ2)	13	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)			有	
	14	大腸がん検診	2-2	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、郵送による大腸がん検診経費全額助成	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	875		有	
	15	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)			有	
	16	乳がん検診	2-4	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、乳がん検診経費全額助成	府・共済	女	すべて	女	被扶養配偶者・年齢は問わない	女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	779		有	
	17	子宮頸がん検診	2-5	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、子宮頸がん検診経費全額助成	府・共済	女	すべて	女	被扶養配偶者・年齢は問わない	女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	1,139		有	
	18	自己採取子宮頸がん検診	2-5	・人間ドックを受診しない組合員を対象に、郵送による子宮頸がん検診経費全額助成	共済	女	すべて					1,025		有	
	19	前立腺検診	2-6	人間ドックと併用して前立腺検診を受診した場合の経費を全額助成	府・共済	男	40、45、50歳以上					4,060		有	
	20	広報誌「福いきょうと」の発行	2-7	事業のお知らせや実施状況、制度の説明、健康に関するコラム等	共済	男女	すべて	男女	すべて					有	
精神の疾病 (タイプ3)	21	こころの健康相談室	3-1	組合員及び被扶養者が契約機関においてカウンセリングを利用した場合の経費全額助成	府・共済	男女	すべて	男女	すべて			1,203	利用組合員が特定の者に偏る傾向があり、実利用者数が少ない	有	
	22	メンタルヘルスハンドブック配付	3-2	新規組合員を対象にメンタルヘルスハンドブックを配付	府・共済	男女	すべて					630		有	
	23	健康管理セミナー	3-2	健康づくりをすすめるために、メンタルヘルスに関する講演及び実技指導を実施	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて					有	
	24	ストレスドック	3-1 3-3	契約機関におけるストレスドック(ストレスチェックやリラックス・カウンセリング等)の受診経費の一部を助成	共済	男女	すべて					770	利用件数が少ない	有	利用しやすくなる方策を検討する

## ②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共 同)	対象者						事業予算 (29年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有 無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由
	N	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
	25	こころの健康チェック	3-3	【こころの体温計】携帯電話やスマートフォンで心の状態をセルフチェックし、健康保持増進に役立つ。 【簡易ストレスチェック】チェックシートに簡単な質問の回答を記入し、無料の個別アドバイスを受けることにより、こころの健康保持増進を図る。	共済	男女	すべて	男女	すべて			1,133		有	
	26	職場の健康づくり支援事業	-	各所属所で実施される健康づくりに関する講習会、研修会等の事業の経費を助成	共済	男女	すべて							有	
歯の疾病 (タイプ3)	27	健康管理セミナー	3-4	健康づくりをすすめるために、歯周病予防に関する講演及び検査を実施（平成29年度）	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて					有	
季節性疾患 (タイプ3)	28	インフルエンザ予防接種助成	3-6	インフルエンザ予防接種の経費を一部助成	共済	男女	すべて					8,100		有	
その他 (共通)	29	指定宿泊施設利用助成	-	公立学校共済組合直営施設等を利用する場合、宿泊料の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて			13,375		有	
	30	保養等施設利用助成	-	支部が契約する民宿等を利用する場合に宿泊料の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて			900		有	
	31	京都宿泊所企画事業参加助成	-	京都宿泊所が企画する事業に参加する場合に一定額を助成	共済	男女	すべて	男女	小学生以上	男女	すべて	23,187		有	
	32	ライフプランセミナー	-	健康面・経済面を軸に生活設計を考える機会となる講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			1,006		有	
	33	介護講座	-	介護の基本的知識や介護技術を習得する講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			256		有	
	34	子育て支援セミナー	-	子育てに係る相談や親子で参加できる講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			614		有	
	35	団体割引施設契約事業	-	支部の契約する宿泊施設やレクリエーション施設等を利用する場合、一般価格より割引いた優待価格で利用できる。	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて			有	
	36	介護機器レンタル助成	-	介護機器レンタル料金の一部を助成	共済	男女	すべて					500		有	
	37	育児用品レンタル助成	-	育児用品レンタル料金の一部を助成	共済	男女	すべて					700		有	
	38	ホームヘルパー雇用助成	-	傷病又は出産のためにホームヘルパーを雇用した場合の経費を一部助成	共済	男女	すべて					1,120		有	
	39	婚礼利用助成	-	京都宿泊所で婚礼をする場合に要した費用の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	5,000		有	
	40	法事・法要等利用助成	-	法事・法要等で京都宿泊所を利用する場合の経費の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	2親等以内の親族	男女	すべて	1,475		有	
	41	広報誌「福利きょうと」の発行	4-1	事業のお知らせや実施状況、制度の説明、健康に関するコラム等	共済	男女	すべて	男女	すべて			2,252		有	
	42	職場環境の整備（コラボヘルス）の推進	4-3	保健事業を利用しやすいよう事業主に職務専念義務免除の配慮等を依頼している	共済	男女	すべて	男女	すべて			-		有	



## ④今後実施する事業

健康課題	事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者						事業予算 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	既存/新規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項
	N	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	組合員/人間ドック・定期健康診断結果の受領被扶養者/受診券を配付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	36,428	被扶養者の受診率が低い	既存	実施方法を検討する必要がある
	2	無料人間ドック	1-1	指定年齢の組合員のドック全額助成	府・共済	男女	40、50歳					31,643		既存	
	3	一般人間ドック助成	1-1	人間ドック受診費用の一部助成	府・共済	男女	40歳以上	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	204,628		既存	
	4	特定保健指導	1-2	対象者に利用券を配付	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	18,780	実施率が低い	既存	実施方法を検討する必要がある(訪問指導の導入等)
	5	健康管理セミナー	1-4 1-11	健康づくりをすすめるために、生活習慣病予防に関する講演及び実技指導を実施	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			1,638		既存	
	6	一般人間ドック助成	1-7	人間ドック受診費用の一部助成	府・共済	男女	40歳未満	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	33,080		既存	
	7	地区別健康増進事業	1-8	それぞれの地域に即し、スポーツ施設利用助成等の健康増進事業を実施	共済	男女	すべて	男女	すべて			7,000		既存	
	8	脳ドック	-	無料人間ドックと併用して脳ドックを受診した場合の経費を全額助成	府・共済	男女	40、50歳					21,640		既存	
	9	セルフケア脳ドック助成	-	一般人間ドックと併用して脳ドックを受診した場合の経費を全額助成	共済	男女	45、55歳、定年退職予定者					12,454		既存	
	10	骨粗しょう症検診	-	人間ドックと併用して骨粗しょう症検診を受診した場合の経費を全額助成	府・共済	女	40、45、50歳以上					4,100		既存	
	11	職場の健康づくり支援事業	-	各所属所で実施される健康づくりに関する講習会、研修会等の事業の経費を助成	共済	男女	すべて					2,200	助成対象か否かの判断基準が曖昧で、安易に申請を受け付ける傾向がある 所属所ごとの利用実績に偏りがある	既存	1回の1人当たりの助成額に上限を設ける等の方法により、過大な助成を避ける
	12	広報誌「福いきょうと」の発行	1-9 1-10	事業のお知らせや実施状況、制度の説明等	共済	男女	すべて	男女	すべて			2,252		既存	
悪性新生物 (タイプ2)	13	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)			既存	
	14	大腸がん検診	2-2	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、郵送による大腸がん検診経費全額助成	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	875		既存	
	15	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	府・共済	男女	すべて	男女	被扶養配偶者・年齢は問わない	男女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)			既存	
	16	乳がん検診	2-4	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、乳がん検診経費全額助成	府・共済	女	すべて	女	被扶養配偶者・年齢は問わない	女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	779		既存	
	17	子宮頸がん検診	2-5	・人間ドックの中で実施 ・人間ドックを受診しない組合員を対象に、子宮頸がん検診経費全額助成	府・共済	女	すべて	女	被扶養配偶者・年齢は問わない	女	すべて(組合員及び被扶養配偶者)	1,139		既存	
	18	自己採取子宮頸がん検診	2-5	・人間ドックを受診しない組合員を対象に、郵送による子宮頸がん検診経費全額助成	共済	女	すべて					1,025		既存	
	19	前立腺検診	2-6	人間ドックと併用して前立腺検診を受診した場合の経費を全額助成	府・共済	男	40、45、50歳以上					4,060		既存	
	20	広報誌「福いきょうと」の発行	2-7	事業のお知らせや実施状況、制度の説明等	共済	男女	すべて	男女	すべて					既存	
精神の疾病 (タイプ3)	21	こころの健康相談室	3-1	組合員及び被扶養者が契約機関においてカウンセリングを利用した場合の経費全額助成	府・共済	男女	すべて	男女	すべて			1,203		既存	
	22	メンタルヘルスハンドブック配付	3-2	新規組合員を対象にメンタルヘルスハンドブックを配付	府・共済	男女	すべて					630		既存	
	23	健康管理セミナー	3-2	健康づくりをすすめるために、メンタルヘルスに関する講演及び実技指導を実施	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて					既存	
	24	ストレスドック	3-1 3-3	契約機関におけるストレスドック(ストレスチェックやリラックス・カウンセリング等)の受診経費の一部を助成	共済	男女	すべて					770	利用件数が少ない	既存	利用しやすくなる方策を検討する

## ④今後実施する事業

健康課題	事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共 同)	対象者						事業予算 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	既存/新 規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項
	N	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
	25	こころの健康チェック	3-3	【こころの体温計】携帯電話やスマートフォンで心の状態をセルフチェックし、健康保持増進に役立つ。 【簡易ストレスチェック】チェックシートに簡単な質問の回答を記入し、無料の個別アドバイスを受けることにより、こころの健康保持増進を図る。	共済	男女	すべて	男女	すべて			1,133		既存	
	26	職場の健康づくり支援事業	-	各所属所で実施される健康づくりに関する講習会、研修会等の事業の経費を助成	共済	男女	すべて							既存	
歯の疾病 (タイプ3)	27	健康管理セミナー	3-4	健康づくりをすすめるために、歯周病予防に関する講演及び検査を実施（平成29年度）	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて					既存	
季節性疾患 (タイプ3)	28	インフルエンザ予防接種助成	3-6	インフルエンザ予防接種の経費を一部助成	共済	男女	すべて					8,100		既存	
その他 (共通)	29	指定宿泊施設利用助成	-	公立学校共済組合直営施設等を利用する場合、宿泊料の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて			13,375		既存	
	30	保養等施設利用助成	-	支部が契約する民宿等を利用する場合に宿泊料の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて			900		既存	
	31	京都宿泊所企画事業参加助成	-	京都宿泊所が企画する事業に参加する場合に一定額を助成	共済	男女	すべて	男女	小学生以上	男女	すべて	23,187		既存	
	32	ライフプランセミナー	-	健康面・経済面を軸に生活設計を考える機会となる講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			1,006		既存	
	33	介護講座	-	介護の基本的知識や介護技術を習得する講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			256		既存	
	34	子育て支援セミナー	-	子育てに係る相談や親子で参加できる講座を開催	共済・互助	男女	すべて	男女	すべて			614		既存	
	35	団体割引施設契約事業	-	支部の契約する宿泊施設やレクリエーション施設等を利用する場合、一般価格より割引いた優待価格で利用できる。	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて			既存	
	36	介護機器レンタル助成	-	介護機器レンタル料金の一部を助成	共済	男女	すべて					500		既存	
	37	育児用品レンタル助成	-	育児用品レンタル料金の一部を助成	共済	男女	すべて					700		既存	
	38	ホームヘルパー雇用助成	-	傷病又は出産のためにホームヘルパーを雇用した場合の経費を一部助成	共済	男女	すべて					1,120		既存	
	39	婚礼利用助成	-	京都宿泊所で婚礼をする場合に要した費用の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	すべて	男女	すべて	5,000		既存	
	40	法事・法要等利用助成	-	法事・法要等で京都宿泊所を利用する場合の経費の一部を助成	共済	男女	すべて	男女	2親等以内の親族	男女	すべて	1,475		既存	
41	広報誌「福利きょうと」の発行	4-1	事業のお知らせや実施状況、制度の説明等	共済	男女	すべて	男女	すべて					既存		
42	職場環境の整備（コラボヘルス）の推進	4-3	保健事業を利用しやすいよう事業主に職務専念義務免除の配慮等を依頼している	共済	男女	すべて	男女	すべて			-		既存		

## ⑤事業の年度計画

健康課題	事業		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
	N	名称						
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	目標実施率：83%	目標実施率：84%	目標実施率：85%			
	2	無料人間ドック	継続実施	継続実施	継続実施			
	3	一般人間ドック助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	4	特定保健指導	目標実施率：15%	目標実施率：21%	目標実施率：27%			
	5	健康管理セミナー	継続実施	継続実施	継続実施			
	6	一般人間ドック助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	7	地区別健康増進事業	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し			
	8	脳ドック	継続実施	継続実施	継続実施			
	9	セルフケア脳ドック助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	10	骨粗しょう症検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	11	職場の健康づくり支援事業	助成内容の見直し	継続実施	継続実施			
	12	広報誌「福いきょうと」の発行	継続実施	継続実施	継続実施			
悪性新生物 (タイプ2)	13	胃がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	14	大腸がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	15	肺がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	16	乳がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	17	子宮頸がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	18	自己採取子宮頸がん検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	19	前立腺検診	継続実施	継続実施	継続実施			
	20	広報誌「福いきょうと」の発行	継続実施	継続実施	継続実施			
精神の疾病 (タイプ3)	21	こころの健康相談室	継続実施	継続実施	継続実施			
	22	メンタルヘルスハンドブック 配付	継続実施	継続実施	継続実施			
	23	健康管理セミナー	継続実施	継続実施	継続実施			
	24	ストレスドック	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し			
	25	こころの健康チェック	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し			
	26	職場の健康づくり支援事業	助成内容の見直し	継続実施	継続実施			



## ⑤事業の年度計画

健康課題	事業		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
	N	名称						
歯の疾病 (タイプ3)	27	健康管理セミナー	継続実施・セミナーのテーマは毎年変わるため、実施無の年もある	継続実施・セミナーのテーマは毎年変わるため、実施無の年もある	継続実施・セミナーのテーマは毎年変わるため、実施無の年もある			
季節性疾患 (タイプ3)	28	インフルエンザ予防接種助成	継続実施	継続実施	継続実施			
その他 (共通)	29	指定宿泊施設利用助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	30	保養等施設利用助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	31	京都宿泊所企画事業参加助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	32	ライフプランセミナー	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し			
	33	介護講座	継続実施	継続実施	継続実施			
	34	子育て支援セミナー	継続実施	継続実施	継続実施			
	35	団体割引施設契約事業	継続実施	継続実施	継続実施			
	36	介護機器レンタル助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	37	育児用品レンタル助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	38	ホームヘルパー雇用助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	39	婚礼利用助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	40	法事・法要等利用助成	継続実施	継続実施	継続実施			
	41	広報誌「福利きょうと」の発行	継続実施	継続実施	継続実施			
	42	職場環境の整備（コラボヘルス）の推進	継続実施	継続実施	継続実施			